

ピエール アモイヤル先生のヴァイオリンマスタークラスは 5 月 12 日土曜日に L505 にて開催されました。受講生は学部 1 年生から院 1 年生までの 7 人、通訳は祐子アモイヤルさん、伴奏は横山歩先生でした。

マスタークラスは 10 時より始まりました。午前中はシベリウス、モーツァルト 5 番、ブラームスの協奏曲の 3 人。とてもよく準備の出来た演奏でした。曲に対する細かな注意の他にボウイングやヴィブラートなど各々これから何を気をつけて演奏するとよりよくなるかということのを的確に指摘され、また生徒さんの反応もよく良いレッスンでした。



午後はモーツァルト 5 番、シベリウス、シベリウス、ハチャトリアンの協奏曲の 4 人。こちらもしっかりと準備された演奏。午前中に引き続きさらに上達するためのシフトの練習、音色の変化をつけるにはどのようなしたらよいかなど、充実したレッスンが続く中、聴講生がたくさんいらして椅子を補充するほどになりました。アモイヤル先生の師であるハイフェッツはレッスンの際必ず他の生徒に聴講させていたので先生もこのスタイルをととても好まれます。ヴァイオリンの事をよく知っている作曲家とそうでない作曲家の場合の楽譜の読み方、先生が若い頃ハチャトリアンと昼食をした時のエピソードなど興味深いお話も聞けて、終了の 18 時までとても活気のあるマスタークラスとなりました。

